



JSG（広州日本人学校） 夏祭り

7月10日、広州日本人学校夏祭りが開催されました。JSG夏祭りはPTAが中心となって企画し、学校の中に日本の夏祭りを再現して、子どもたちに楽しんでもらおうという催しです。毎年子どもたちはこのお祭りを楽しみに心待ちにしています。

当日は、生徒約400人に加えその保護者や就学前のちびっ子たちが日本人学校に大集合。約4時間のお祭りを楽しみました。今年の出店には、もじゃもじゃヨーヨー釣りやスマートボール、スローイングゲーム、ダンボールミステリーなどがありました。それぞれ、お父さんやお母さんが1ヶ月前からこの日のために準備してきたものです。肝試しのダンボールミステリーは今年も大人気で、入場待ちの長い列ができ、真っ暗な教室の中からは大きな悲鳴が聞こえ大盛り上がりでした。お父さん達はその場で作品をつくってくれるバルーンアートや、友だちと記念写真が撮れるフォトコーナーでも順番を待つ切れ目ない行列できていました。また、読み聞かせボランティアのお母さんたちの特設教室も満員御礼。どこも

大人気でした。お祭りの定番、やはり人気の綿あめは、開始から1時間たったころ機械が故障。待っていた子どもたちがとても残念がっていました。

一通り楽しんだ後は、体育館に集まって盆踊りです。今年度は輪踊りではありませんでしたが、ノリの良い曲にみんなで楽しく踊りました。浴衣を着た子どもたちがかわいらしく踊る姿に日本のお祭りの雰囲気を感じられる時間となりました。

お祭りの最後を締めくくるのは各企業からの協賛品を景品にした恒例「ラッキードロー」。今年の抽選方法は、引き換え券に書かれた文字。その文字から景品を想像しながら自分の当たりを待ちます。景品が発表になるたびに会場はどよめきにつまれました。

今年度の夏祭りも無事に終わることができました。これも中心になって準備したPTA役員の方々、運営ボランティアになった保護者のおかげです。そして、楽しい一日を提供してくださった協賛企業の皆様のご協力があったことです。改めまして皆様に御礼申し上げます。